

平成30年度

地域公益活動の展開を考えるセミナー

～ 子どもの貧困をなくすために！地域、社会福祉法人の可能性を考える ～

開催要綱

1 趣 旨

「子どもの貧困」が深刻な社会問題として認識され、様々な子どもの貧困対策が取り組まれているものの、わが国の「子どもの貧困率」（平成28年国民生活基礎調査）は、13.9%、約7人に1人が相対的貧困に陥っています。

このような状況の中、未来の担い手を育むべき地域、地域公益に関する取り組みを責務とする社会福祉法人は、子どもの貧困にどう向き合っていけばよいのでしょうか？

本セミナーでは、地域や施設が、その資源をどう活かし、支援を展開していくべきか？子どもの貧困をなくすための地域や施設の可能性をともに考え、実践に活かしていくことを目的に開催します。

2 主 催

社会福祉法人大分県社会福祉協議会
大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

3 期 日

平成30年 **11**月**9**日（金）13：30～16：30

4 会 場

大分県総合社会福祉会館 4階大ホール（大分市大津町2丁目1番41号）

5 参加費 無 料（定員100名）

6 対象者

社会福祉法人・社会福祉施設の役職員、県・市町村、社会福祉協議会、
民生委員児童委員、子ども食堂関係者、関係機関等

7 日程・内容

13：00～13：30 受付

13：30～13：35 開会／オリエンテーション

13:35～15:15

【講演】 「 子どもの貧困をなくすために

～ 子どもの「今」をサポートする ～（仮題） 」

講師：大阪子どもの貧困アクショングループ（NPO 法人 CPAO）

代表 徳丸 ゆき子 氏

◇講師プロフィール◇

大阪子どもの貧困アクショングループ（NPO 法人 CPAO/シーパオ）代表。大阪府生まれ。NPO 法人にて不登校、ひきこもり支援に従事した後、2002 年より国際協力 NGO セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに所属。国内事業を担当。子どもの社会参画、子どもの貧困、東日本大震災復興支援のスタッフを経て、2013 年に現団体設立。

～NPO 法人 CPAO とは～（HP より抜粋）

2013 年 5 月 24 日、「最後におなかいっぱい食べさせられなくて、ごめんね。」といった遺書のようなメモを残し、大阪市北区で発見された母子変死事件を受け、「悲劇を繰り返したくない！」と翌日から子ども支援関係者と共に活動を始め。

子どもたちには自分で育つちからがある。そのちからを様々な原因で奪われている子どもたちがいる。その環境を大人や社会はどう整えることができるのか？

よりしんどい状況に置かれている子どもたちに「まずは、ごはん！」からつながり、「子どもの育ちをサポート」できる社会を目指し、活動を展開中。

15:25 ～ 16:00

【活動発表】大分県の子どもの居場所づくり（各15分）

- (1) まち中サロンを活用した子ども食堂～ケアハウス光（宇佐市）
- (2) つなぐ食堂～つなぐプロジェクト（九重町）

16:00 ～ 16:30 コメント・事務連絡・閉会

8 参加申込

- (1) 参加を希望される場合、別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、平成30年10月24日（水）までにFAXにて大分県社会福祉協議会施設団体支援部あてお申し込みください。
- (2) 駐車場の台数に限りがありますので、できる限り公共交通機関のご利用、乗り合わせにご協力ください。

9 問合せ・申込先

大分県社会福祉協議会施設団体支援部（担当：折原・宮脇）

TEL 097-558-0300／FAX 097-558-6001

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番41号 大分県総合社会福祉会館